

2022年1月31日
秋田住友ベーク株式会社
秋 田 県
東 北 電 力 株 式 会 社

**「秋田住友ベーク」にて再生可能エネルギーの地産地消を実現！
～ 「あきたEネ！オプション水力100%」による供給を開始 ～**

秋田住友ベーク株式会社（代表取締役社長：小林 孝、以下「秋田住友ベーク」）は、秋田県（知事：佐竹 敬久）および東北電力株式会社（取締役社長 社長執行役員：樋口 康二郎、以下「東北電力」）が共同で提供する「あきたEネ！オプション水力100%」への加入を通じて、地元秋田のCO₂を排出しない電気の使用を開始いたしました*。

これに伴い、2022年1月21日、秋田県と東北電力から秋田住友ベークへ認証書を交付いたしました。

「あきたEネ！オプション水力100%」は、秋田県内において、CO₂排出削減に取り組む企業等に向けて、CO₂を排出しない県営水力発電所の電気を供給することで、再生可能エネルギーの地産地消に繋げる取り組みです。

秋田住友ベークの親会社であり、プラスチックのパイオニアとして革新的な製品・技術を生み出してきた住友ベークライト株式会社は、企業理念として、「我が社は、信用を重んじ確実を旨とし、事業を通じて社会の進運及び民生の向上に貢献することを期する。」というSDGs（持続可能な開発目標）とも深く通じる基本方針を掲げております。

このような理念のもと、秋田住友ベークは、2000年より地球温暖化対策に係る省エネルギーの取り組みの一環として、消費電力や工場内で使用する化石燃料の削減等を行っており、資源エネルギー庁が定めるエネルギー合理化クラス分け評価では「Sクラス：省エネが優良な事業者（目標達成事業者）」を6年間（2014年以降）達成しております。

また、同社では、2030年度温室効果ガス46%削減、そして2050年カーボンニュートラルの実現を目指すため、さらなる地球温暖化対策として、2021年8月1日より「あきたEネ！オプション水力100%」へ加入し、使用電力量の一部を地元秋田のCO₂を排出しない電気へ切り替えており、さらに2022年1月1日からは使用電力量の全量を「あきたEネ！オプション水力100%」へ切り替え、CO₂排出削減に取り組んでおります。

秋田住友ベークは、これからも電力使用に伴うCO₂排出量ゼロをはじめとしたSDGsへの取り組みを加速し、持続可能な社会の実現に貢献しながら事業を推進してまいります。

秋田県および東北電力は、「あきたEネ！オプション水力100%」の提供を通じて、秋田県内で事業を営む企業等に対し、再生可能エネルギーの電気を供給することにより、企業価値の向上等による県内企業の発展に貢献できればと考えております。

※ 秋田住友ベーク株式会社 レジン製造部 （秋田市土崎港相染町字中島下 27 - 4 ）
メディカル工場（ // ）
秋田寮（秋田市土崎港中央四丁目 1 - 8 ）

（別紙）「あきたEネ！オプション水力 100%」の概要について

【お問い合わせ先】

秋田住友ベーク株式会社 総務部

TEL018(845)1181

秋田県 産業労働部公営企業課

TEL018(860)5012

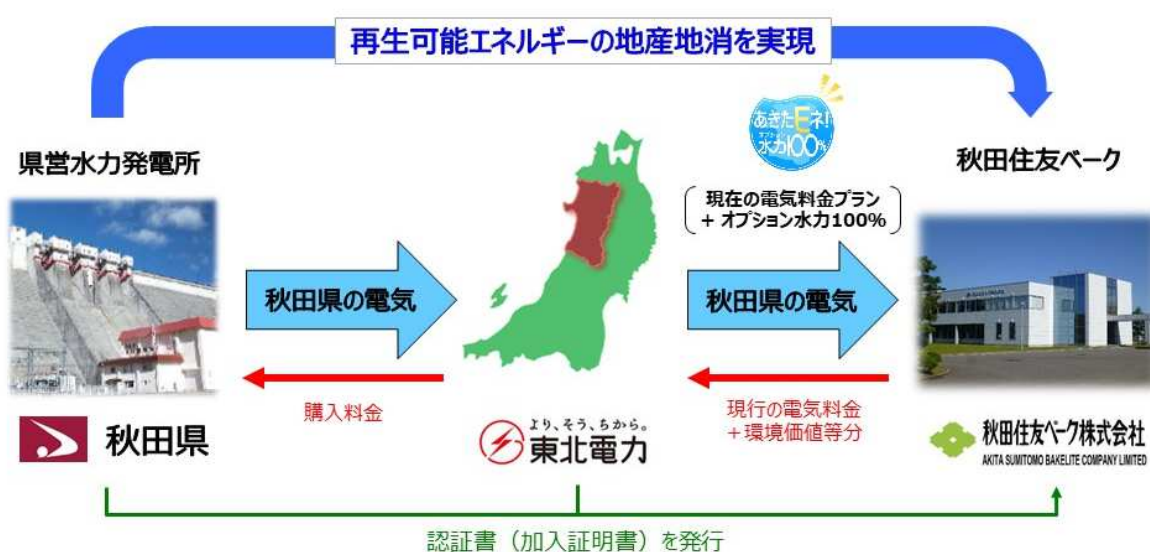
東北電力株式会社 秋田支店企画管理部門（総務広報）

TEL018(865)0565(報道)

「あきたEネ！オプション水力 100%」の概要について

「あきたEネ！オプション水力 100%」は、秋田県内で、CO₂排出削減に取り組む企業等に向けて、CO₂を排出しない地元秋田の県営水力発電所の電気を供給するプランです。

＜「あきたEネ！オプション水力 100%」のスキームイメージ＞



■ 「あきたEネ！オプション水力 100%」の特徴

- ✓ 電気の使用に伴うCO₂排出量ゼロを実現し、「地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）」の報告等にも活用いただけます。
- ✓ 秋田県内の企業等のお客さまを対象とした地産地消の電気料金プランであり、秋田県産の水力発電のご利用をPRいただけます。

以 上